

ものづくり補助金 計画書の作成例

⑤今回の事業の革新性・差別化（1000字以内）

今回の事業の新しい部分、創意工夫の部分等のアピールポイント、他者との差別化、競争優位性について説明してください。今回の事業で提供する製品・サービスと競合する他社製品・サービスや代替製品・サービスに関する分析、及び自身の保有する技術等の強みをどう活用するかを踏まえてください。

特に、製品・サービス高付加価値化枠に申請する場合、開発する製品・サービスの革新性が審査項目となっているため、革新性について具体的かつ詳細に記載してください。

■革新性の要点 | 補足資料④

本事業で開発する「プラグイン」は、Wordpressにインストールすることで、AIを活用して、日本語のページを自動で多言語化する機能を有する。

ただし、単に翻訳するだけではない。「折り返し翻訳」も表示することで、正しく翻訳されているか、人間が目視で確認できる機能も有する。

○従来型AIツールの課題

AIを活用した翻訳ツールは多数ある。「ChatGPT」といった汎用ツールに加えて、「自動翻訳して、表示するツール」なども開発されている。

しかし、従来のこれらのツールでは「AIの行った翻訳が正しいかどうか」の判断は、ツールの利用者に委ねられていた。翻訳内容の適切性を検証するために、自分であらためて「翻訳ツール」に入れ直して、「折り返し翻訳」された内容が、正しいかどうかをチェックする必要があった。

○本システムの革新性

本システムの革新性は、「日本語の文章」を入力した際に、翻訳された「英語の文章」が表示され、さらにその下に、「折り返し翻訳」された「日本語の文章」も表示されることにある。

「折り返し翻訳」が常時表示されることで、翻訳された「英語の文章」が正しいかどうかが、一瞬で判断できる。おかしい「折り返し翻訳」が表示されれば、元の「日本語の文章」を調整することで、それが一致したところで、「正しい翻訳がなされている」と判断することができる。

これによって、ページ作成者の英語力に依存せず、「公開ページでは、ほぼ間違いのない翻訳文を表示できる」ことを実現できるのである。

（以下略）

計画書作成例のポイント

上記は、実際に採択された計画内容について、公開しても問題のない範囲で、調整・改善したものです。

書き方・内容などは、2026年1月23日に採択発表された「ものづくり補助金（第21次）」のものとほぼ同じような作り方をしております。

項目立てをしっかりとし、端的で分かりやすい文章で作るように心がけています。